

# 1 shiftect. が解決するスケジュール業務

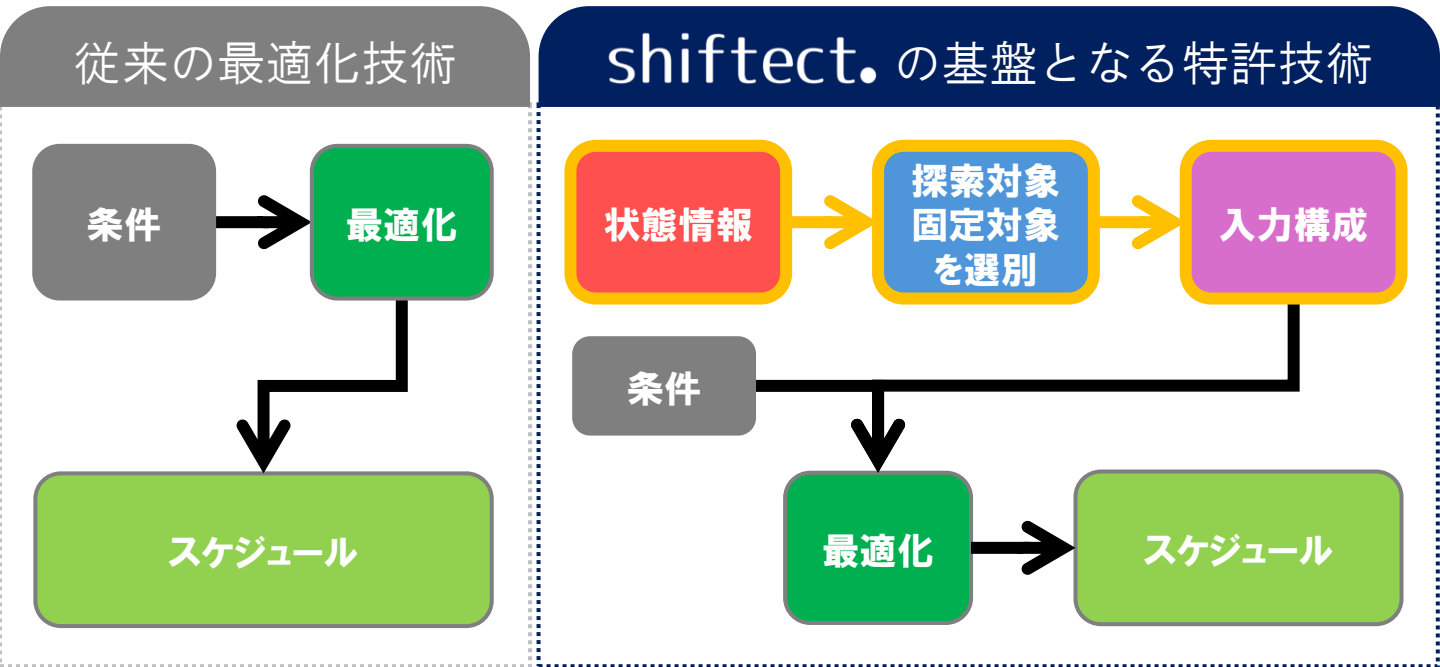
スケジュール業務は、予定を作成して終わりではありません。  
確定後にも欠勤や追加依頼など、調整・変更を必要とする事案(業務上の状態変化)が発生し、そのたびに既存の予定との関係を保ちながら再調整を行う必要があります。



shiftect.は、作成から変更・再調整までを一つの仕組みで扱うスケジューリングエンジンです。

## 2 特許技術の中核と、従来との違い

従来の最適化技術が、与えられた条件の中から最適な組み合わせを求めるのに対し、shiftect.の基盤となる特許技術は、その前段階にある状態情報(業務上の状態変化を含む)に応じて入力構成を決定します。



状態情報から探索対象と固定対象を選別し、最適化処理の入力構成を決定することで、全体生成、部分的な変更、再調整といった異なる局面を共通の構造で扱います。

## 3

## 最適配置が生む価値

shiftect.が目指すのは、スケジュール作成業務の省力化だけではありません。人・時間・設備などのリソースを最適に配置することで、企業・組織、働く人、サービスを利用する人の三者に価値を生み出すことを目指します。



## 企業・組織



## リソースの有効活用

限られた人・時間・設備を効率的に活用できる



## 業務の属人化を低減

スケジュール業務の標準化により、特定の担当者に依存しない運営が可能



## 運営の継続性を向上

条件を構造化して保持することで、担当者が交代しても運営を継続しやすい

shiftect.

PATENTED TECHNOLOGY



## 働く人



## 業務集中を抑制

特定の人に業務が偏ることを防ぐ



## 無理な配置を抑制

スキルや希望、条件を考慮し、無理のない配置を実現



## 本来の業務に使える時間を確保

スケジュール作成にかかる負担を減らし、利用者対応などの業務に集中できる



## サービスを利用する人



## 希望・条件を反映

利用者の希望や条件を考慮したスケジュールを実現



## 安定したサービス提供

適切な人員配置により、継続的にサービスを受けられる

## 4

## 業界展開の可能性と適用例

shiftect.の構造は特定業界に限定されるものではなく、教育、介護、医療、物流など、複数のリソースと制約条件を扱い、作成後の変更も発生する領域への展開を想定しています。

| 適用例  | 主なリソースの例       | 主な条件の例               | 変更要因の例          |
|------|----------------|----------------------|-----------------|
| 教育   | 生徒・講師・教室       | 教科・時間・対応可否           | 欠席・振替           |
| 訪問介護 | 利用者・介護職員・訪問エリア | サービス内容・時間・移動条件・勤務可否  | 欠勤・予定変更・訪問条件変更  |
| 施設介護 | 利用者・介護職員・ケアタスク | 必須スキル・時間帯・必要人数・実施エリア | 欠勤・シフト変更・ケア配置変更 |
| 医療   | 患者・医療従事者・設備    | 資格・設備・時間             | 緊急対応・予定変更       |
| 物流   | 車両・ドライバー・配送対象  | 配送条件・時間              | 再配達・予定変更        |

shiftect.の共通スケジューリングエンジンを、最初に個別指導塾の授業予定へ適用したサービスが「shiftect. for EDUCA」です。



生徒、講師、教室、時間など複数の条件を扱いながら、授業予定の作成から変更・再調整までを一体的に処理できるスケジューリングSaaSとして開発を進めており、2026年11月から実際の個別指導塾で実証実験を開始する予定です。

### 特許概要

特許番号:特許第7926298号  
 発明の名称:最適化処理装置、最適化処理方法及びプログラム  
 特許権者:シフテクト株式会社  
 発明者:石川大介

### 会社概要

会社名:シフテクト株式会社  
 代表者:代表取締役 石川大介  
 設立:2026年2月20日  
 所在地:東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山9F  
 URL:<https://shiftect.co.jp>